

# よろこび

## 『よろこび』二十三

貫首 齊藤 日軌

日蓮宗 講堂会

本山 妙圓寺

長春山 本誓寺

「南無妙法蓮華經と唱え、悟りに住みましょう」

人間の心には、一念三千、十界互具といっ  
いろんな心があり、ころころと常に変化してや  
みません。地獄の心から仏の心まで。日蓮聖人  
は、八観心本尊鈔に  
「或る時は喜び、或る時は瞋り、或る時は平か  
に、或る時は貪りを現じ、或る時は癡を現じ、  
或る時は諂曲なり、瞋るは地獄、貪るは餓鬼、  
癡なるは畜生、諂曲なるは修羅、喜ぶは天、平  
かなるは人なり」と説明されました。

私達の心にも仏の心があり、仏  
のようにならぬ機会、瞬間が  
あります。そのとき私たちは、  
公平な、慈愛に満ちた心になり  
ます。いつも仏の心であること  
それが悟りです。南無妙法蓮華  
經と唱え仏の心をいただき悟り  
に住しましょう。



みおしえ

「受くるはやすく持つはかたし、さる間、  
成仏は持にあり」【四条金吾殿御返事】  
南無妙法蓮華經ととなえ、仏の心を持ち、  
悟りの境地にありましょう。悟りとは、一  
生懸命悟りを目指して修行するものであり  
ますが、信心によって仏心を頂戴し、悟り  
の心になり続けることが肝要です。日々の  
生活のなかで怒りそうになったり、人を恨  
みそうになったり南無妙法蓮華經と唱えて  
悟りの世界から一歩も出ないよう努力しま  
しょう。  
それでも、怒ったり、愚痴ったりしたら南  
無妙法蓮華經と唱えて悟りの心に帰りまし  
ょう。常にお題目をとなえ仏の心を持ち、  
悟りの世界に皆さん住みましょう。

### 心の言葉

南無妙法蓮華經と唱え  
仏の心を持ち、悟りの境  
地にありましょう。

